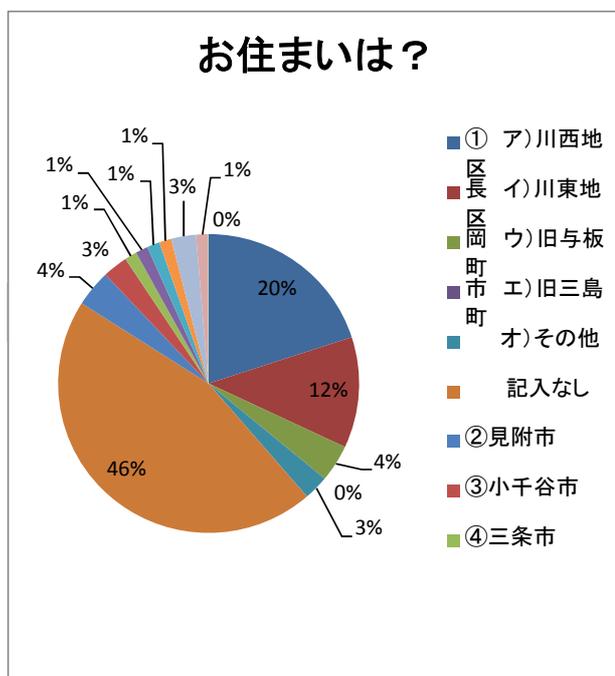


# 「よみがえる“みず”わくわくフェスタながおか」アンケート結果について

- 当社は、平成24年4月1日に「財団法人」から「公益財団法人」へ移行し、これまで以上に「**県民の皆さまに積極的に情報発信を行う。**」ことを行動目標の一つとしました。
- その一環として、下水道の果たす役割や重要性・必要性について、皆さまから一層のご理解とご関心を頂き、身近で親しまれる「浄化センター」となるよう、長岡浄化センターを会場にイベント（「よみがえる“みず”わくわくフェスタながおか」）を開催致しました。
- 初めての試みにも関わらず、公社の予想を上回る多くの皆さまからご来場頂くとともに、イベントにつきましても概ねご好評を頂き、職員一同安堵し、感謝しております。
- また、この度のイベントにおいて、来場者の皆さまにアンケートをお願いしたところ、多くの方々からご協力を頂きましたが、その結果（一部抜粋）をお知らせします。

(問) (ご回答者の)お住まいはどちらですか？

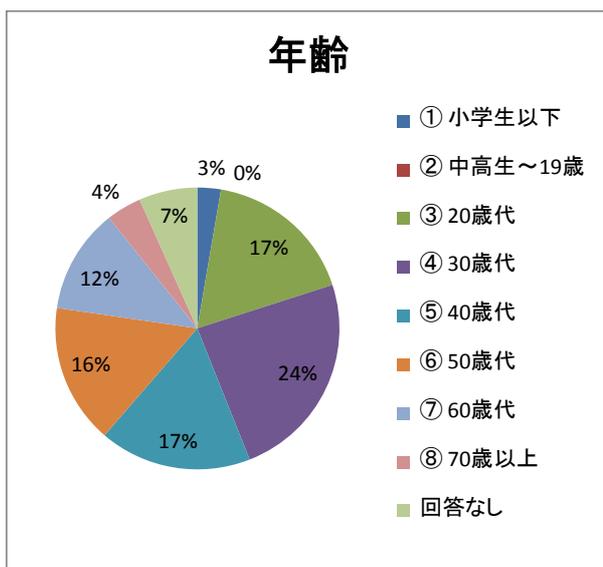
① 長岡市	
ア)川西地区	15人
イ)川東地区	9人
ウ)旧与板町	3人
エ)旧三島町	0人
オ)その他	2人
記入なし	34人
②見附市	3人
③小千谷市	2人
④三条市	1人
⑤燕市	1人
⑥加茂市	1人
⑦柏崎市	1人
⑧新潟市	2人
⑨その他	1人
記入なし	0人
計	75人



- 今回のイベントは、主として会場の長岡浄化センター周辺にお住まいの方から、「身近に感じて頂く。」ことを目的としてご案内・PRした結果、長岡市内にお住まいの方々から多くのご来場を頂きました。
- 長岡浄化センターは、長岡市及び小千谷市を処理区域としておりますので、次年度以降のイベントは、小千谷市にお住まいの方々にも積極的にPRする等、広報の拡大を図っていく必要があるものと考えております。

(問) (ご回答者の)年齢について？

①小学生以下	2人
②中・高校生～19歳	0人
③20歳代	13人
④30歳代	18人
⑤40歳代	13人
⑥50歳代	12人
⑦60歳代	9人
⑧70歳代以上	3人
記入なし	5人
計	75人

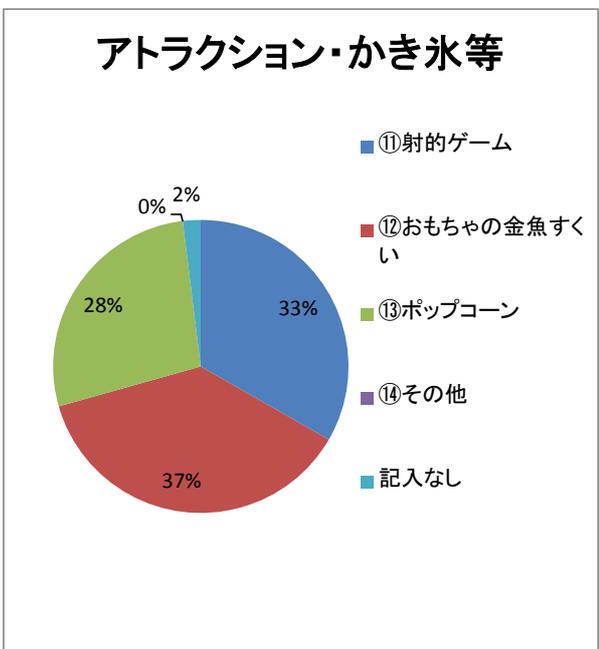
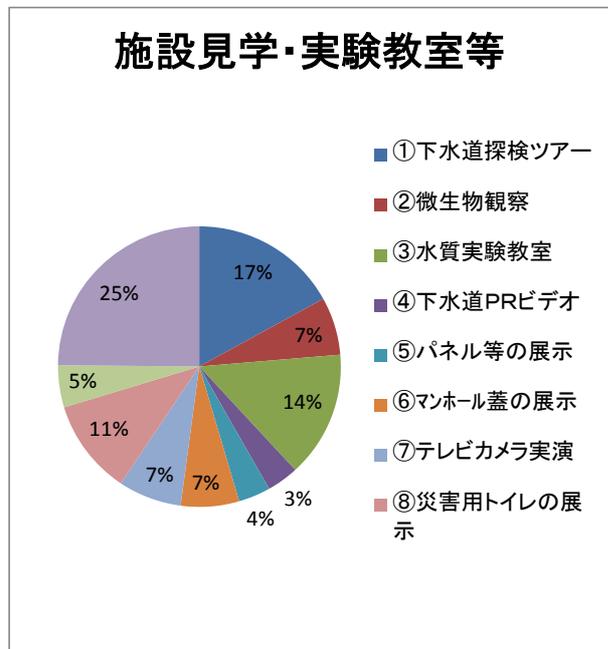


・ 来場された多くの方がお子さま連れのご家族単位と考えられますので、下水道への理解や普及・促進を図る上では、こうした方々から一層のご来場を頂くような工夫が必要であると考えられます。

では、いろいろな催し物の中で印象に残ったものについてお聴きしたところ・・・

(問)「よみがえる“みず”わくわくフェスタ」の中で印象に残った催し物は何ですか？(複数回答可)

①下水道探検ツアー	28人	⑨洗浄車の展示	8人
②微生物観察	11人	⑩バイオガスカート	41人
③水質実験教室	24人	⑪射的ゲーム	17人
④下水道PRビデオ	6人	⑫おもちゃの金魚すくい	19人
⑤パネル等の展示	6人	⑬ポップコーン	14人
⑥マンホール蓋の展示	11人	⑭その他	0人
⑦テレビカメラ実演	12人	記入なし	1人
⑧災害用トイレの展示	18人		

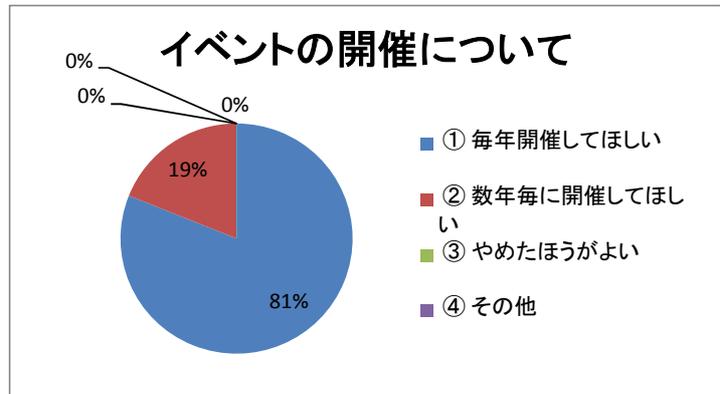


では、こうしたイベントの開催についてお聴きしたところ・・・

(問) 下水道に関するイベントの開催について

(1) 今回、初の試みとして「よみがえる“みず”わくわくフェスタ」を開催しましたが、このような下水道に関するイベントの開催について

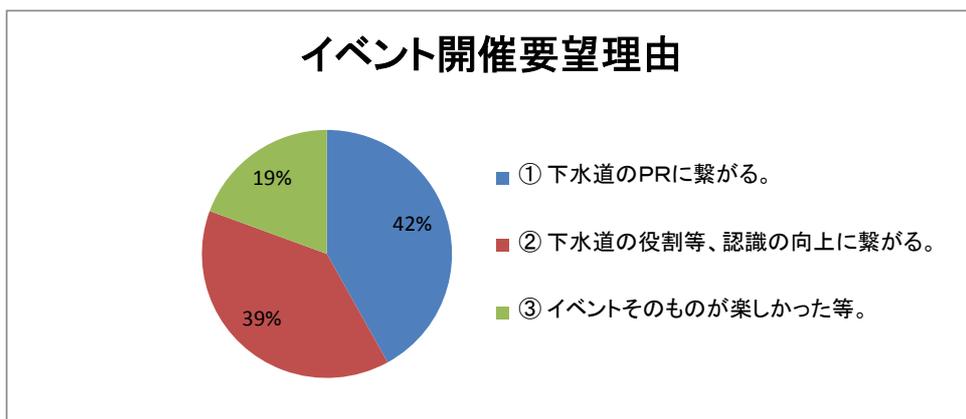
① 毎年開催してほしい	60人
② 数年毎に開催してほしい	14人
③ やめたほうがよい	0人
④ その他	0人
回答なし	0人
計	74人



また、その理由をお尋ねしたところ・・・

(2) その理由をご記入ください

① 下水道のPRに繋がる。	13人
ア 下水処理場の有用性が広まるため	(20代男性)
イ 下水道について、一般の方々にも関心を持ってもらうため。	(30代男性)
② 下水道の役割等、認識の向上に繋がる。	12人
ア 広く下水道を知ってもらうため	(60代男性)
イ 私たちの出す生活排水の処理過程を身近に理解出来るから	(20代男性)
ウ 下水道の役割に対する啓蒙活動	(40代男性)
エ 家族が下水道を理解できて良かった	(40代男性)
オ 普段知らないでいることを学べる機会になるから。	(30代女性)
③ イベントそのものが楽しかった等。	6人
ア 子ども大人も楽しめました	(30代女性)
イ 普段知らないでいることを学べる機会になるから。	(30代女性)
ウ 普段開放されていない施設のため、見学会を開いた方が良い。(30代男性)	

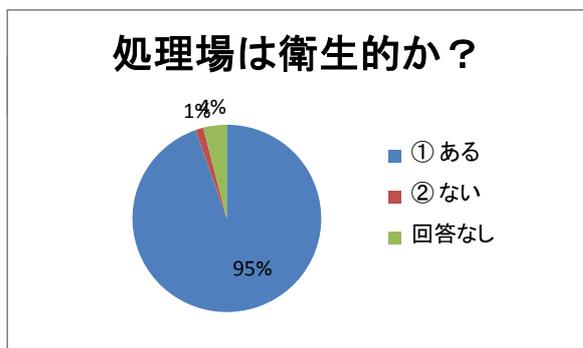
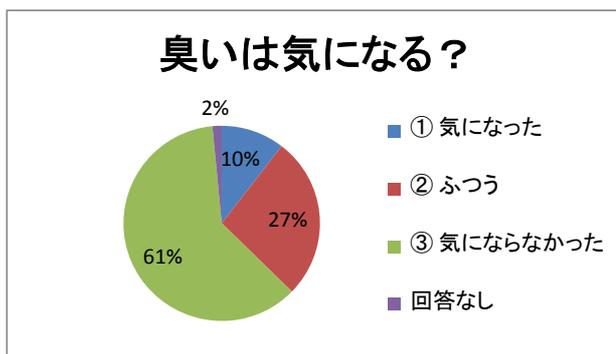
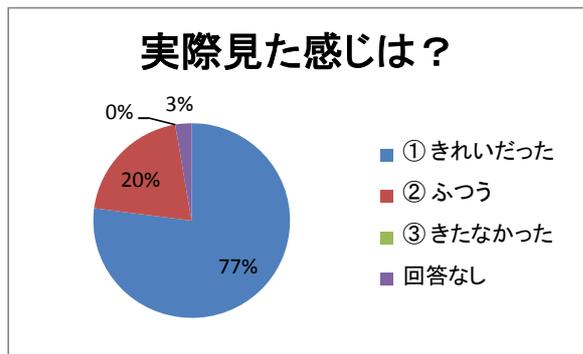


- 1 「下水道探検ツアー」や「水質実験教室」、「バイオガスカート」等、下水道に関する催し物に多くの方々から興味・関心を持って頂いた結果、「イベントが『下水道のPR』や『下水道の役割について認識が向上』に繋がる」、という前向きな意見に結びついたものと考えられます。こうしたイベントが下水道について認識を高めていく上で、重要な役割を担っていることを痛感しました。
- 2 また、「射的」や「おもちゃの金魚すくい」、「ポップコーン」といったアトラクションは、親子連れのご家族にとって魅力的なイベントであり、一層の拡充が効果的であると考えられます。
- 3 その他、少数のご意見ではありましたが、「夏休み中だともっと良かった。自由研究に使いたいから。」というご意見もいただきましたことから、イベント実施時期の検討を行う必要があると考えます。

また、今回の開催場所である新潟浄化センターの印象についてお聴きしたところ・・・

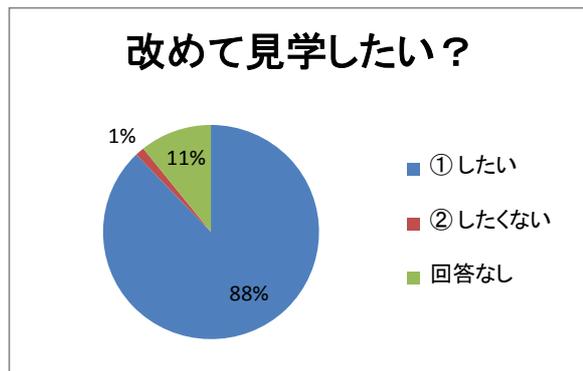
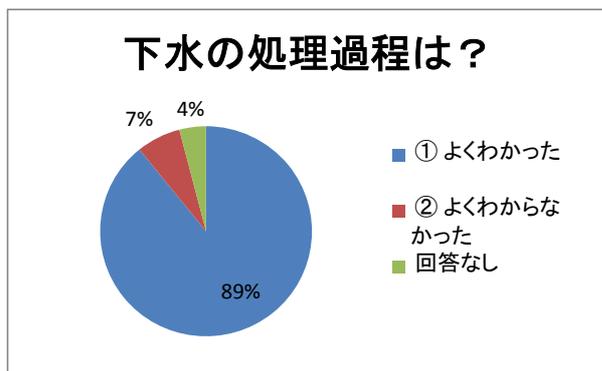
(問) 浄化センターについてどのような感想をお持ちになりましたか？

Q. 浄化センターを見た感じはどうでしたか？	① きれいだった	57人
	② ふつう	15人
	③ きたなかった	0人
	回答なし	2人
Q. 処理場の臭いは気になりましたか？	① 気になった	7人
	② ふつう	18人
	③ 気にならなかった	41人
	回答なし	1人
Q. 処理場は衛生的でしたか？	① ある	70人
	② ない	1人
	回答なし	3人



その他、浄化センターにおける「下水処理過程」や「見学」についてお聴きしたところ・・・

Q. 水がきれいになる過程がわかりましたか？	① よくわかった	66人
	② よくわからなかった	5人
	回答なし	3人
Q. 改めて見学したいと思いますか？	① したい	65人
	② したくない	1人
	回答なし	8人



- 1 ご来場頂いた皆さんからは、「浄化センターは『きれい』で『衛生的』であり、『臭いも特に気にならない。』」といったイメージアップに繋がったものと考えられます。
- 2 また、「浄化センターにおける下水処理の過程がよくわかった。」「改めて見学したい。」という方がほとんどであったことから、実際に見学に来て頂くことの重要性を再認識するとともに、こうした機会を更に設ける必要があるものと考えております。

## まとめ

- ・ こうしたイベントが、「下水道」や「浄化センター」を身近に親しんで頂けるよい機会となり、また、役割や必要性をご理解して頂く上で非常に効果的であったと考えられます。  
次年度以降も関係機関・団体等とさらに協議・連携を図りながら、より効果的なイベントが開催できますよう検討して参ります。

## ～ 施設見学のご案内について ～

下水道公社では、常時、住民の皆さんや学校等の要望に応じ、施設見学を積極的に受け入れ、見学会を実施しておりますので、お気軽にご相談ください。

このたびのイベントを機会に、ますます多くの皆さんから見学についてお申し込み頂きますよう、職員一同、心からお待ちしております。

なお、施設見学につきましては、公社ホームページのトップページ「施設見学について」からもお申し込みできます。

～ 私たちは、下水道の維持管理等を通じ、皆様の『健康的で快適な居住環境の向上』と『公用水域の水質の保全』に努めています。～